

伊藤 正・貞子 絵画展

～ 日本の美からヨーロッパの美へ ～

伊藤正・貞子コレクションの中から、古都仏像作品、
滞欧作品、人物画の18点を展示いたします。



「ノートル・ダム・ド・パリ」
1962年 伊藤 正

伊藤正（1915年～1989年）は、戦後間もない頃の道展再建に尽力し、さらに学校教育の場においても活躍した北海道を代表する画家の一人です。生涯にわたり写実の世界を追求し続け、愛する家族や身近な風景、幾度か滞在したフランスの街並みなどを描いた作品を数多く遺しています。故郷札幌では道展（1971年退会）、中央では日展や一水会に出品し、数々の賞を受けるなど華々しく活躍しました。

彼の妻である伊藤貞子（1922年～1966年）も夫を支えながら自らも道展や一水会において入賞するなど活躍しましたが、ガン性腹膜炎のため43歳という若さで生涯を終えました。

夫婦ともに画家としてお互いを高めあって生きた二人の作品をこの機会にぜひご覧ください。



「ブルターニュの家」
1965年 伊藤 貞子

入場
無料

2025年4月11日(金)～20日(日)

【会 場】

くりやまカルチャープラザ「Eki」
2階町民ギャラリー
栗山町中央2丁目1番地（JR 栗山駅直通）
TEL 0123-73-3333

【主 催】

栗山町教育委員会社会教育課
栗山町朝日4丁目9番地36

TEL 0123-72-1117

展 示 予 定 作 品

作品名	制作(年)	寸法 (cm)
仏像	1951	37×26.5
帽子の女	1959	115×88.5
迦樓羅像	1961	60×49
迦樓羅像	1961	60×49
法隆寺中門仁王(阿)	1961	60×49
法隆寺中門仁王(吽)	1961	60×49
ノートル・ダム・ド・パリ	1962	89.5×71
シャルルマニユ通り	1963	89.5×71.5
ヴォージュ広場の家	1963	71.5×89
ブリズミッシュ通りの家	1963	89.5×71
モンマルトルのぶどう祭り(貞子・作)	1963	90×115
アヴェ・マリア通りの家	1963	90×72
人物(黒衣)	1964	89×71
静物	1965	90×71
ブルターニュの家(貞子・作)	1965	111×144
標	1967	98×53
自画像	1975	43×36
裏街(ニース)	1984	160×111.5

【技法】…油彩、パステル

【画材】…キャンバス、紙